

## ずっと一緒だよ お母さん

「天使からのポエム」最優秀

たけうち いくま  
竹内 生真君

静岡市立清水不二見小6年



市長賞の喜びを話す竹内生真君（右）と母の節子さん（静岡市清水区）

静岡市内の小中学生から家族への思いをつづった詩を募集する「天使からのポエム」コンクールで、清水不二見小6年の竹内生真君（11）の「そんなのあたりまえ」が最優秀の静岡市長賞に選ばれました。

市PTA連絡協議会が毎年行っているコンクール。本年度は応募対象となる市内の小学4年と6年、中学2年の児童生徒から校内選考を通過した約450

点が集まり、入賞は47点でした。竹内君は母の節子さん（46）と普段の生活で話すうち、特に心に残っている言葉を詩にしました。

「思ったことをそのまま書いた」という竹内君。「家族はすべて一緒で、それが当たり前。一緒にいてくれるお母さんでありがどうも伝えたい」と照れくさそうに話してくれました。

（2面へ続く）

そんなのあたりまえ

お母さんは、お風呂に  
「一人のんびり入りたい。」  
と、言うけれど  
「ぼくがいないと広すぎるよね。」

お母さんは、ご飯を  
「一人ゆっくり食べたい。」  
って言うけれど  
「皆で食べるからおいしいよね。」

お母さんは、寝る時、  
「大の字で寝たい。」  
って言うけれど  
「ぼくがいないと、寒いよね。」

ぼくは赤ちゃんだと言われても  
ずっと一緒だよ、お母さん。  
そんなのあたりまえだよね。

2013年3月10日朝刊 YOMOっと静岡

① あなたの家族の「あたりまえ」は何ですか。この詩のように、あなたの

「そんなのあたりまえ」の詩を作ってみましょう。

作り方：〔 〕にことばを入れる。

〔 〕は〔 〕って言うけれど、〔 〕  
そんなの あたりまえだよね。

年 組 名前

（小学校全学年 生活、道徳）